

「少子化等に関する県民意識調査」の結果概要

I 県民を対象とした調査

(1) 調査の概要

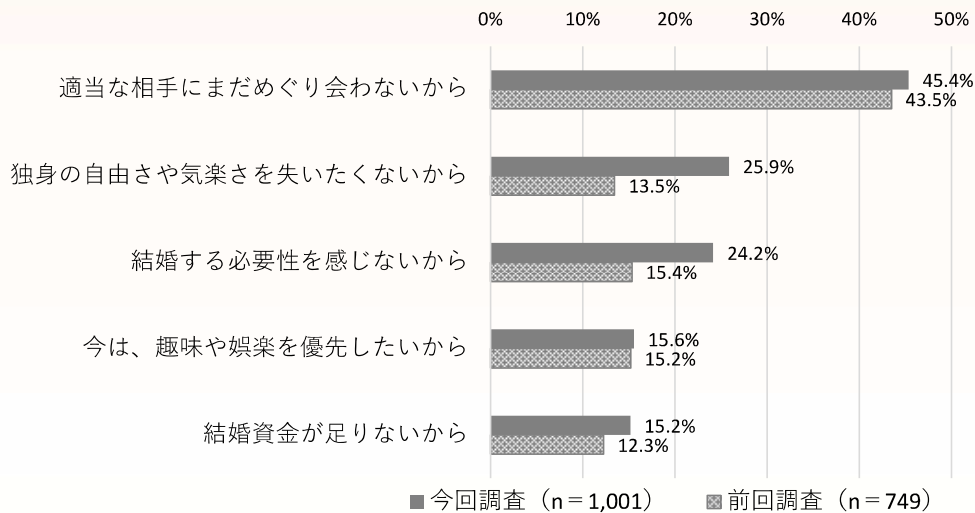
	県民 5,000 人	公募	みなみパス会員
実施時期	令和 5 年 11 月下旬から 12 月上旬に実施		
対象地域	鹿児島県内全域		
調査対象	無作為に抽出した県内在住の 18 歳以上の男女 5,000 人	県内在住の 18 歳以上の男女	南日本新聞社の会員サービス「みなみパス」会員 10,443 人
調査方法	郵送による配布、郵送またはインターネットによる回収	インターネットによる配布、回収	みなみアンケート（インターネット調査）による配布、回収
回収数・回収率	1,405 件 (28.1%)	2,957 件	2,233 件

(2) 主な調査結果（「かごしま子ども未来プラン 2020」の重点目標項目）

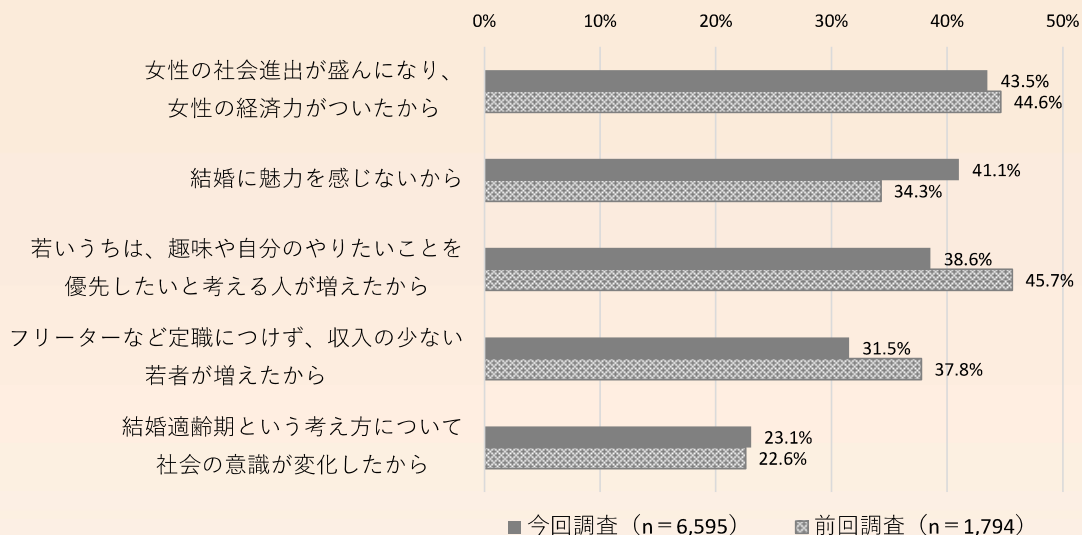
目 標 項 目	現状 (H30 年度)	調査結果 (R5 年度)
いずれは、結婚しようとする未婚者（40代まで）の割合	68.5%	56.3%
予定している子どもの数が2人以上と答える人の割合	74.7%	80.8%
子育てがしやすくなったと感じる人の割合	20.8%	25.6%
仕事と家庭の両立がしやすくなったと考える人の割合	15.4%	24.4%

(3) その他の主な調査結果

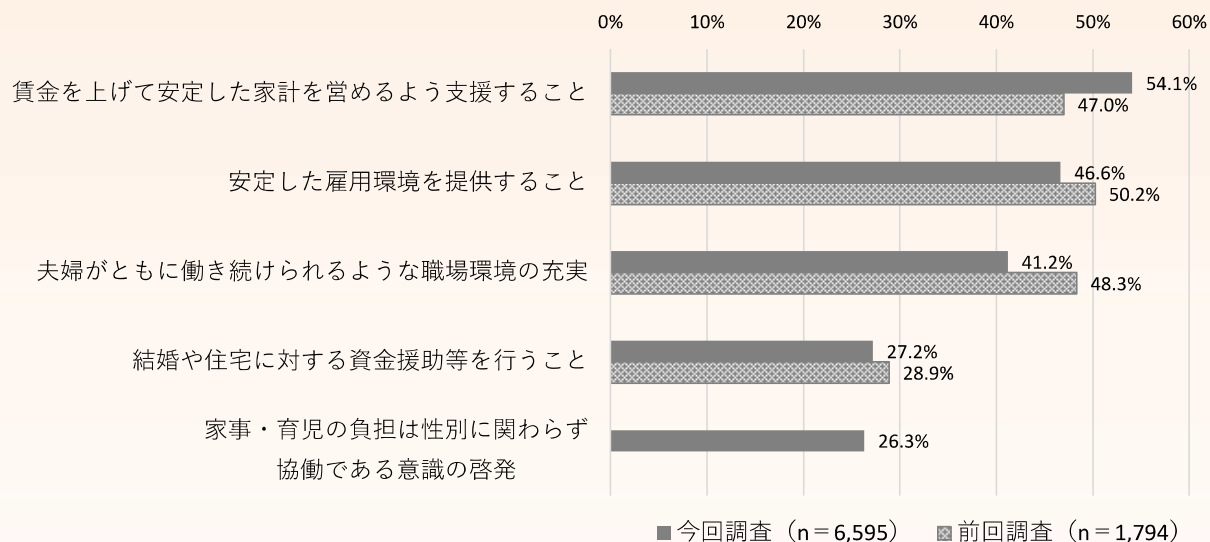
ア 独身でいる理由（複数回答）



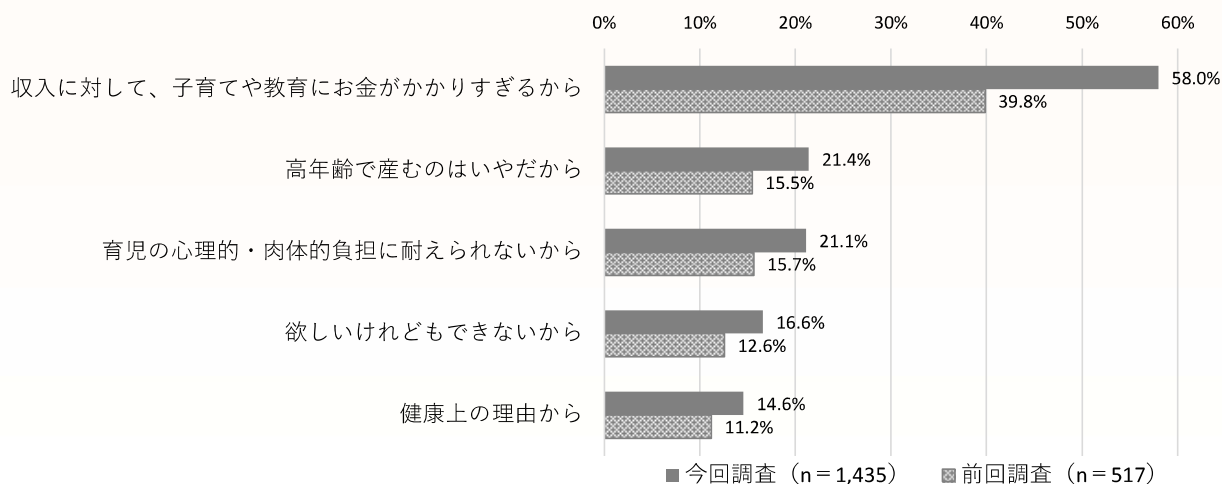
イ 未婚化・晩婚化が進んでいる原因（複数回答）



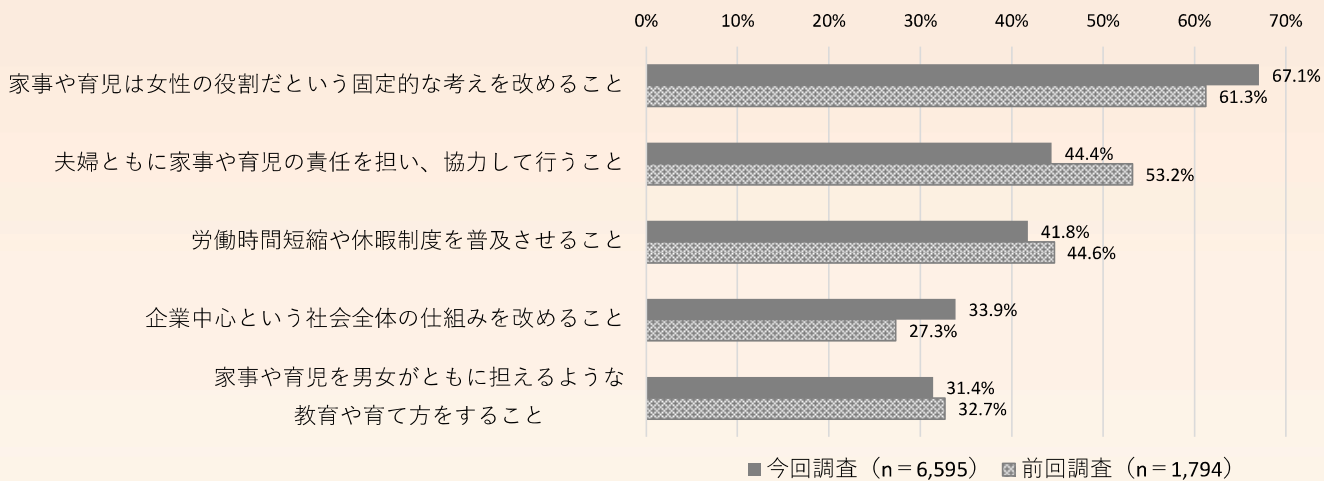
ウ 結婚を希望する人への支援策として重要な施策（複数回答）



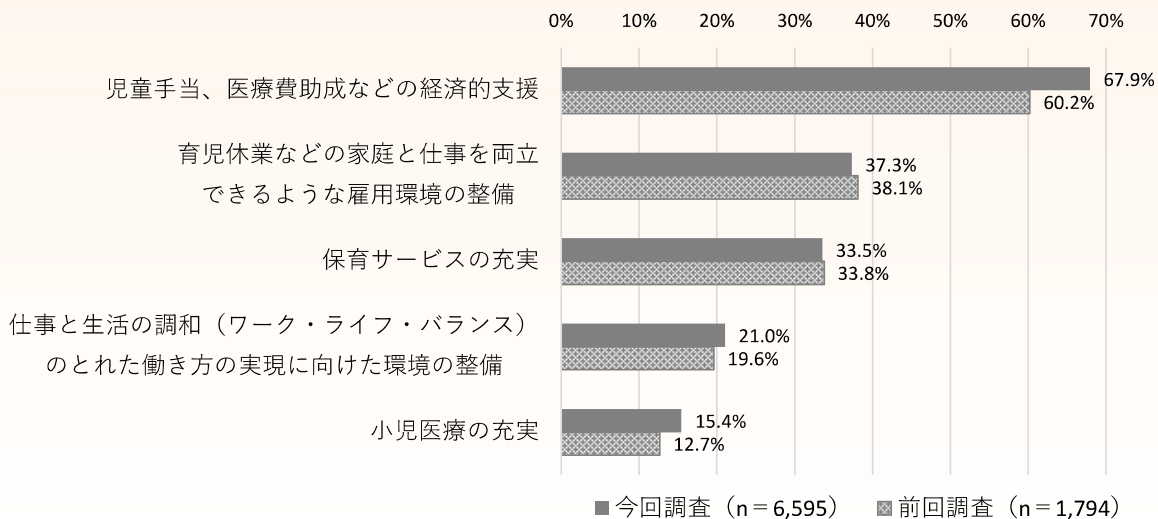
エ 実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由（複数回答）



オ 男性が女性とともに積極的に子育てをしていくために必要なこと（複数回答）



カ 子どもを健やかに産み育てるために、国、県、市町村に期待すること（複数回答）



Ⅱ 県内企業を対象とした調査

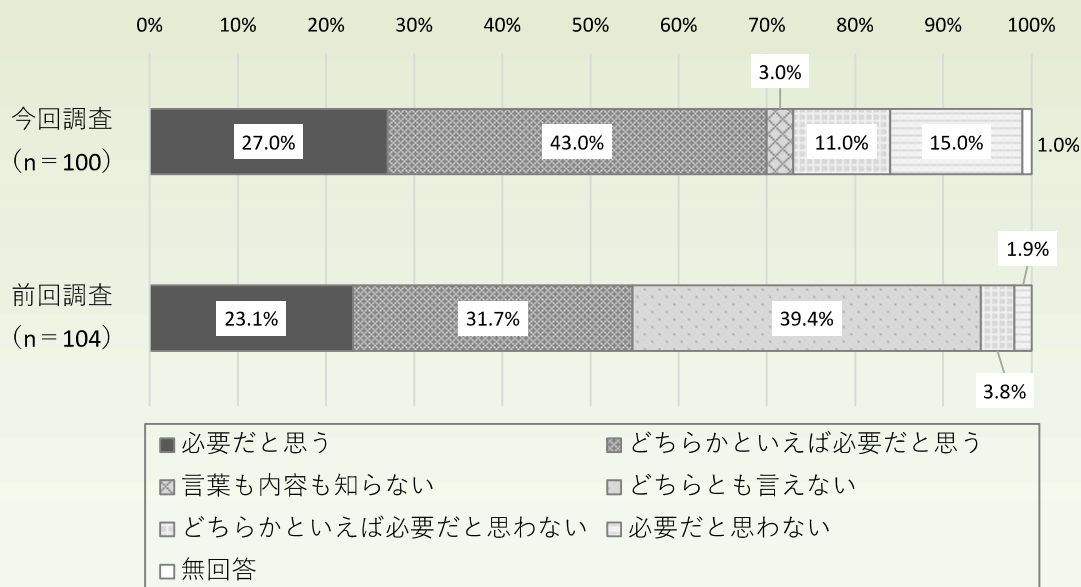
(1) 調査の概要

- ア 調査期日 令和5年11月下旬から12月上旬に実施
- イ 調査対象企業 鹿児島県内の一般企業及び子育て応援企業から県が無作為に抽出
- ウ 調査方法 郵送による配布、郵送またはインターネットによる回収
- エ 調査数 200社（一般企業100社、子育て応援企業100社）
- オ 回答数 100件（50.0%）
- カ 回答企業の従業員規模の割合

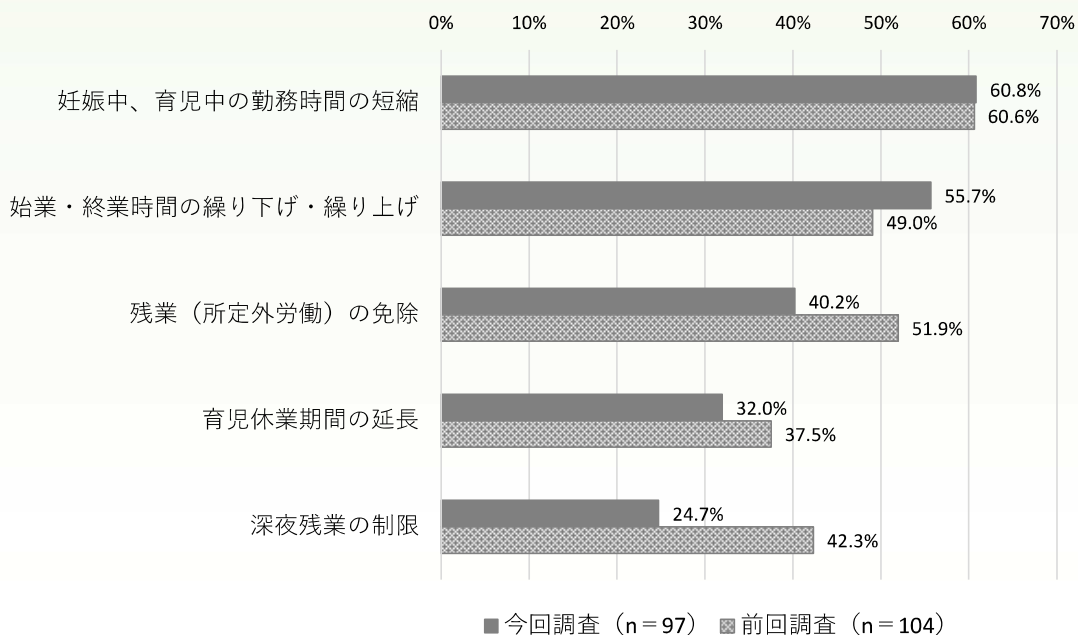
	10人未満	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上
今回調査（令和5年度）	12.0%	9.0%	10.0%	15.0%	22.0%	29.0%

(2) その他の主な調査結果

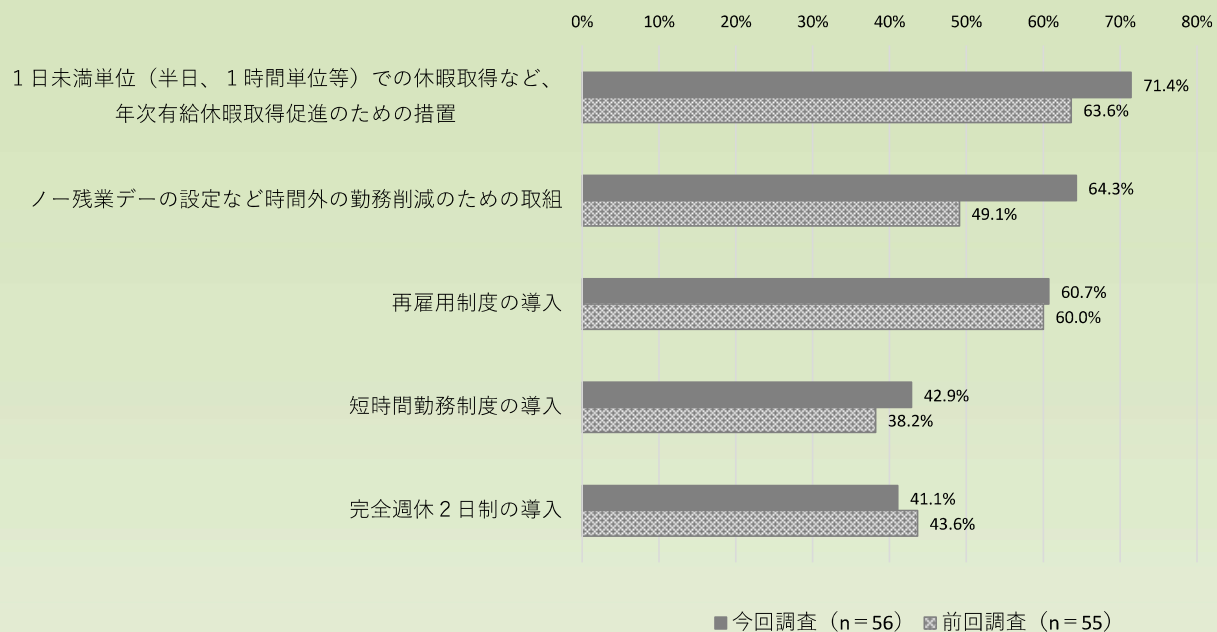
ア 企業が従業員の結婚支援に取り組むことについて



イ 貴社で取り組んでいる子育て支援の内容（複数回答）



ウ ワーク・ライフ・バランスを推進する取組（複数回答）



エ ワーク・ライフ・バランスの実現のために、行政に希望すること（複数回答）

